

不死鳥(フェニックス)ウォールアートの掲示を延長します

— 宮崎県からの御厚意により本市へ寄贈 —

- 本年4月から市まち・ひと・しごと交流プラザ(PIER7)の軽運動室で掲示している「不死鳥(フェニックス)ウォールアート」は、カツオ一本釣り漁業などで本市とつながりが深い宮崎県が制作したもので、本年10月17日まで開催された「国文祭・芸文祭みやざき2020」の関連事業として、全国から公募し集めた羽根の絵を組み合わせて描かれた作品となっています。
- 東日本大震災から不死鳥のように立ち上がる本市の姿を応援いただいたこのウォールアートは、これまで本年10月までの掲示予定としておりましたが、今般、宮崎県の御厚意により本市に作品を御寄贈いただき、引き続き掲示することとなりましたので、お知らせします。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、市民や観光客の皆様がこの作品をご覧いただく機会があまり取れない状況が続いていましたが、掲示期間の延長により、全国の多くの方々にご覧いただくことを期待します。
- 宮崎県からは毎年多くの漁船が入港しており、24年連続生鮮カツオ日本一の本市にとって、宮崎県との関係は重要と認識しています。このウォールアートの掲示・寄贈を契機に、さらなる絆を強めてまいります。

【ウォールアートの概要】

- 設置の経緯 宮崎県と気仙沼市は、以前からカツオ一本釣り漁業などの水産業において結びつきが強く、「宮・宮の絆」(宮城県と宮崎県の絆)として、以前から相互に交流をしてきました。
今般、「国文祭・芸文祭みやざき2020」(第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭)の開催(開催期間:本年7月3日~10月17日)に合わせて、アートの力で被災地・気仙沼を応援したいとの申し出が宮崎県から本市にあり、設置しています。
- 掲示場所 気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ(PIER7) 2階 軽運動室
- 作品の大きさ 高さ:2.0m, 幅:10.0m
- 記念式典の開催 「不死鳥(フェニックス)ウォールアート」を広く知っていただくため、本年7月25日に河野俊嗣宮崎県知事が来市し、「設置記念式典」を開催しています。記念式典では、河野県知事と市内の小学生との交流等が行われました。



※ 本市への思いを語っていただいた河野俊嗣宮崎県知事(本年7月25日)